

1 季節と生物① 春の始まり 天気と気温

春の始まりのころの身近な生物のようすを調べよう。気温のはかり方を覚えよう。

終わった!!
したよシールを
はろう

教科書のまとめ

自主勉

ポイントをおさえよう!

※大日本図書の教科書に対応したページを例として表示しています。

1 春の始まりに見られる身近な生物のようす

観察 生物をさがして、ようすを観察する。

- 春になってあたたかくなると、冬に見られなかったツバメやこん虫を見かけるようになる。

ツバメは南のほうから飛んでくるよ。

- いろいろな植物の花がさく。

サクラ

- つぼみがふくらんで、花がさき、花が散るころに葉が出てくる。



葉



ツバメ

はるのすけ

ナナホシテントウを見つけたよ。

ナナホシテントウ



ほかにどんなこん虫がいるのかな。

オオイヌノフグリ

- 青色の小さな花をさかせる。



テンテン

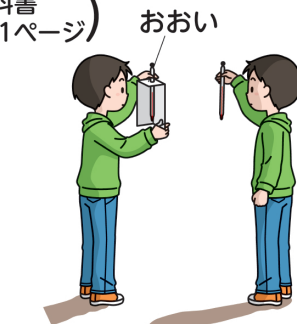
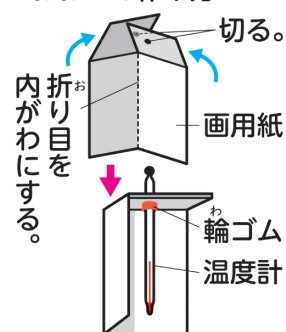
2 天気の見分け方、気温のはかり方

- 「晴れ」と「くもり」のちがいは、空全体の雲の量で決まる。

気温(空気の温度)のはかり方

- 周りがよく開けた風通しのよいところではかる。
- 地面から1.2~1.5mの高さではかる。
- 日光が温度計に直せつ当たらないようにする。

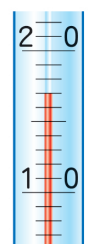
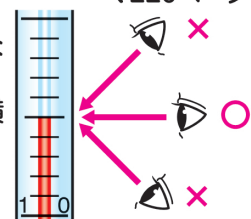
●気温のはかり方(教科書 221ページ) おおい



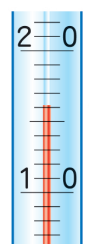
おおいを使ったり、温度計を自分のかげに入れたりする。

●温度計の読み方の読み方(教科書 220ページ)

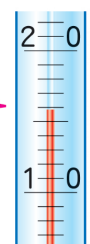
えきが動かなかったら、目もりを真横から読む。



「17度」と読み、「17℃」と書く。



えきの先に近いほうの目もりを読む。どちらも「16度」と読み、「16℃」と書く。



ワーク

まとめを見て、やってみよう!

★テストによく出る!

! 考えて表現する

1 春の始まりに見られる生物のようすについて答えましょう。

- ① 春になると、ツバメはどこからやってきますか。○をつけましょう。
() 南のほう () 北のほう

- ② サクラの木で、先に開くのは葉と花のどちらですか。
()

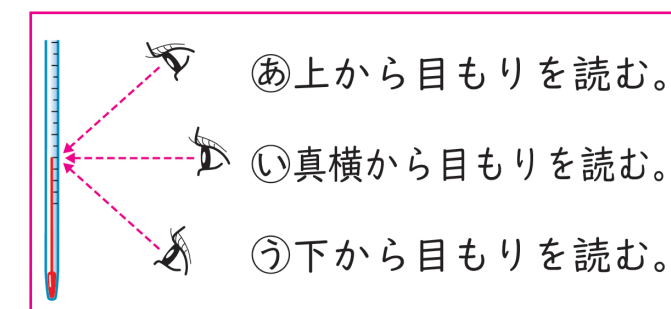
2 天気の見分け方や気温のはかり方について答えましょう。

- ① 「晴れ」と「くもり」のちがいは、何の量によって決まりますか。
()

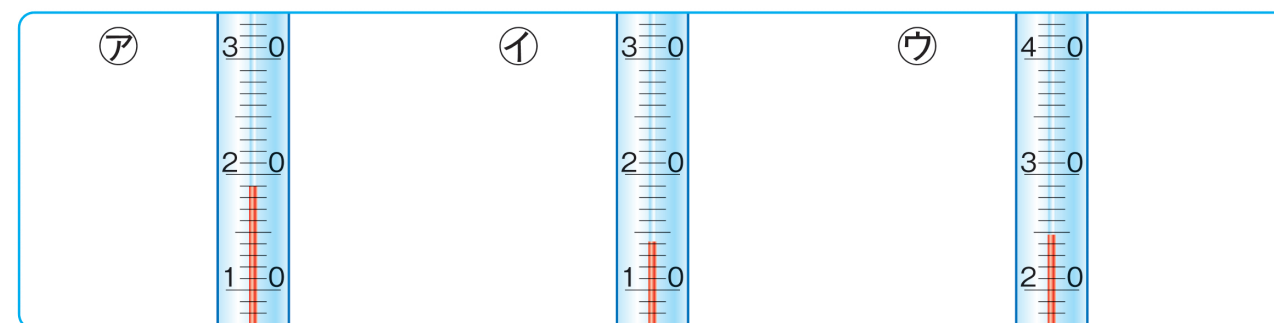
- ! ② () に当てはまる言葉を書きましょう。

- 気温は、日光が温度計に () ようにしてはかる。

- ★③ 温度計の目もりの正しい読み方は、㉑~㉓のどれですか。
()



- ④ ㉑~㉓の温度計は、何℃をしめしていますか。



() () ()

ワーク

まとめを見て、やってみよう!

★テストによく出る!

！考えて表現する

1 春の始まりに見られる生物のようすについて答えましょう。

① 春になると、ツバメはどこからやってきますか。○をつけましょう。

春になると、ツバメは南のほう(○)南のほう () 北のほうから暑さを避けてやってきます。

② サクラの木で、先に開くのは葉と花のどちらですか。

●サクラは、花が散るころに葉が出てくるよ。(花)

2 天気の見分け方や気温のはかり方について答えましょう。

① 「晴れ」と「くもり」のちがいは、何の量りょうによって決まりますか。

空全体の9~10割が雲におおわれて(例(空全体の)雲の量)いるときが「くもり」です。

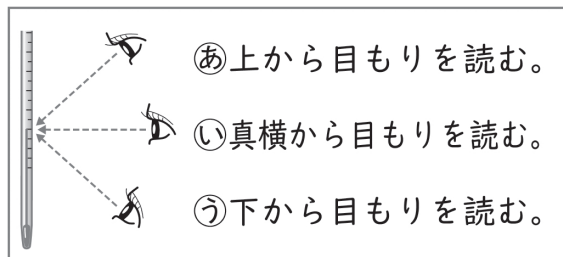
！② ()に当てはまる言葉を書きましょう。

●気温は、日光が温度計に(例直せつ当たらない)ようにしてはかる。

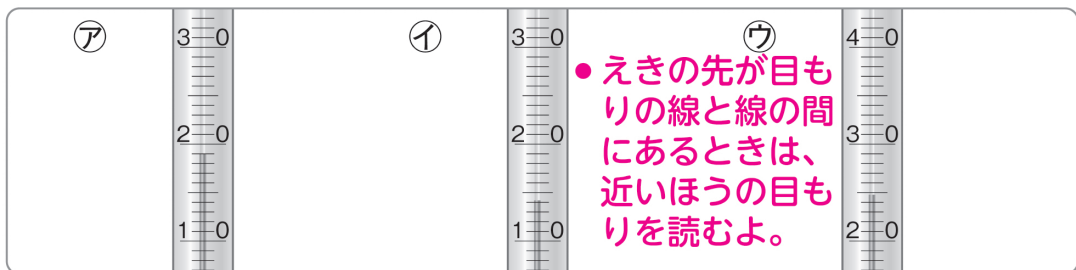
★③ 温度計の目もりの正しい読み方は、あ~うのどれですか。

(い)

●目の位置が温度計と直角になるようにして、えきの先を真横から読むよ。



④ ア~ウの温度計は、何℃をしめしていますか。



(19°C) (14°C) (25°C)